

自 転 車 ・ 単 車 は 好 調 に ス タ ー ト
自 動 車 は 今 後 の 伸 び に 期 待 ！



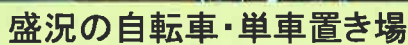
自治会通信

《第6号》

自治会広報係
発行責任者 堀本文男
平成23年2月発行

供用開始三ヶ月（九月～十一月）の
利用状況を報告（樫原市）

一月八日（土）
 に行われた自治
 会役員・自治委
 員による合同委
 員会に同席した
 市の担当部長と
 同課長より九月
 から供用が開始
 された「市営八
 木駅前南駐車場
 」のスタート三
 ケ月間の実績報
 告及び、今後の
 展望について説
 明を受けました。
 それによると
 自転車・単車は
 見込みを超える
 滑り出しとなっ
 たが、その一方
 で、自動車は大
 きく見込みを割
 った。然し、直
 近は徐々に上向
 いてきており今
 後に期待できる
 との見解が示さ
 れました。



スタート三ヶ月の利用状況は別表の通り。自転車・單車は屋内駐車となり、雨に濡れることが無くなったのがプラズ要因になったのか、当初の見込みを上回る結果となりました。その一方で、自動車は駐車場の認知度が低かったせいが見込み数字を大きく下回りました。しかし、市担当者からは一直近は徐々に認知され利用が増えていきます。近くに本年4月に観光交流センターがオープンすることも見込みます」と、期待を込め

利用台数	区 分		台数見込 3ヶ月分	台 数 実 績				実績一見込
				9月分	10月分	11月分	計	
	自転車 単 車	一時 利用	9,765 3,255/月	3,518	3,435	3,273	10,226	461
		定期 利用	1,989 663/月	876	691	713	2,280	291
	自動車	一時 利用	12,957 4,319/月	1,260	2,073	2,533	5,866	△7,091
定期 利用		75 25/月	0	8	6	14	△61	

中間決算実施の報告

地縁団体内膳町自治会では、平成二十二年度上半期（四月～九月）の中間収支決算を行い監査役の承認を得ました。たと説明がありました。

駐車場の賃貸借契約は毎年更新されます（九月～翌年八月）。それゆえ運営実績が賃料に跳ねかえります。今後もしに健全な駐車場運営を委ねると同時に、業務連絡を緊密にとりながら財産管理を図っていく方針です。

中間決算実施の報告

かとう建設・小西設計事務所
駐車場修補経過を報告
供用開始直後から①集中豪
雨時に樋からオーバーフロー

する。②車道に水が溜まる。③地下に下りる天井にカビが出てきたと、市より指摘を受け、更にその後もクラック（け）目より後の水漏れ、白華現象が出てきた。等々の不具合が出ていることについて、昨秋から、施工を受け持ったかとう建設と、設計管理を担当した小西設計事務所の両社に対応を申し入れていた件に關し、二月五日両社と協議の場を持ち当日時点における総括的な報告を受けました。

これは、次世代に引き継ぐ自治会の大事業である「駐車場建設」が、完成から一年経

過していないにも拘わらず、（平成二十二年二月一日引き渡し）数々の不具合が生じていることについて、自治会が両社に、徹底した原因究明、責任の捉え方、今後の対応等を強く求めていたものです。それに対し、かとう建設から「大変ご迷惑をおかけしました。ご指摘を真摯に受け止めた。ご対応致します。すぐに手直しが可能な件については十二月に修補を完了しました。時季の検討を要するもの（水溜まりの修補は少し暖かくなつてから）」については二月中ごろより行う予定です。」との報告を受けました。又、小西設計事務所からは「誠実に調査し指示をします。今後とも期間を問わず対応させてもらう」との返答がありました。

檜原交流センター

かしはらナビプラザ 2011・4・29
OPEN!!



平成22年2月18日に地鎮祭が行われ、12月末日に建ちあがり、現在、4月29日オープンに向けて内装工事が行われています。公募にて愛称が「かしはらナビプラザ」に決まり、これから奈良県中南和の玄関口の観光拠点として、観光、物産、交通に関する地域の様々な情報発信拠点として大きな役割が期待されます。

各フロアの紹介

1F	観光センター	観光客に橿原市をはじめ中南和のきめ
2F	〃	細かい観光情報を発信する。
3F	子供広場	親と子のふれあい広場等により、子供の 健やかな育ちを支援、一時預かりを行う。
4F	市民相談広場	市民生活に関する各種の無料相談を行う。
	男女共同参画広場	男女共同参画社会の形成を促進する。
	消費生活センター	商品やサービス等の消費生活相談を行う。
5F	市民活動交流広場	市民活動団体等の活動の場を提供する。

新春 悲惨 3丁目でアパート全焼

正月気分がのさめやらない。月十一日の夜九時十分頃、3丁目のアパート「協和荘」の2階付近から出火。火はまたたく間に全戸に燃え広がりました。焼けた跡から2名の方が遺体で見え



全焼した「協和荘」

火は猛烈な勢いで炎上。最中、空気が乾燥して、風はほとんどなかったが、そのほかに、50mほど離れた近鉄電車線の線路を超えた地域まで飛散るありさま。時々ポンポンと何かが破裂する音も聞こえ、火根が燃え崩れていきま

桜まつり 4月3日（日）開催

春は桜まつりから！！

春の訪れを表現するのに使われる「春はセンバツ（選抜高等学校野球大会）」から「風」に言えば、「内膳町の春は桜まつりから」となります。二月二日に日本気象協会から発表された桜の開花日は三月二十九日とのことです。『まつり』当日は丁度見ごろかもしれないと、春爛漫の下での開催を望みたいものです。

過去に例を見ない人出で賑わい、住民の交流が深まりました。また、昨秋二十数年振りに行われた「秋まつり」は、地域挙げての協力により盛況に終結。まさに自治会が目指す「顔なじみ社会づくり」が更に一歩前進しました。本年もより一層住民同志が触れ合えるイベントになることを期待します。

秋まつりの余韻が残る十一月二十七日、二十八日の二日間「秋まつり写真展」をすみれホール5階広間において行いました。両日で約120名の方が来館。107枚の写真（A4サイズ）と、伊勢大神楽のビデオ鑑賞で当日を盛りかえつて頂きました。写真展は当初の予定には無かつたのですが、実行委員会が見て「是非、たくさんの方に声が見ていただいては」という声が見え、役員間で持ち上がり、急遽の実施となりました。大神楽のビデオは、二丁目の松井さんが提供して下さいました。内膳町に住んで三年になるといいう子供連れの主婦は「この町にはこんな催しがあったのですね。良い思い出になりました」と、ビデオに見入っていました。

秋まつり写真展開催

昨年の出来事

地域のコミュニティを活かし 安心・安全の街づくりを目指して

地縁団体内膳町自治会 会長 堀本文男

積年の要望でもある。今年一月十七日に奈良市防災センターで開かれた「防災講演会」において、大規模地震が発生した場合、被害を如何に最小限に抑えるかが課題とされるが、その力を握るのは、地域ごとの「自主防災」に対する意識の

正月気分がのさめやらない。月十一日の夜九時十分頃、3丁目のアパート「協和荘」の2階付近から出火。火はまたたく間に全戸に燃え広がりました。焼けた跡から2名の方が遺体で見え

今年一月十七日に奈良市防災センターで開かれた「防災講演会」において、大規模地震が発生した場合、被害を如何に最小限に抑えるかが課題とされるが、その力を握るのは、地域ごとの「自主防災」に対する意識の

求め、幅広い防犯、防災の組織づくりを實踐し、住んでよかつたという、安心、安全な環境を整備して、次世代に引き継ぐ大きな財産と致したく思考致しております。今後、ご理解ご協力願うや切であります。



賑わった昨年の桜まつり

防災会だより

午前10時よりすみれホール階段間で震災を中心とした学習会を開きます。皆様の参加をお待ちしています。

職員募集	
職種	事務職(パソコンできる方)
勤務地	内膳町すみれホール
時間	午前9時～午後5時まで
休日	週休2日(土・日は必勤務)
給与	面談上決(採用4月1日以降)
応募方法	歴持参(送付可)・写真添付
◇申し込み先◇	
〒634-0804 橿原市内膳町1丁目2-24	
地縁団体 内膳町自治会内職員募集係	